

京都市路上喫煙等の禁止等に関する条例（平成19年6月1日京都市条例第2号）
（文化市民局市民生活部地域づくり推進課）

路上喫煙等（道路，公園その他の室内及びこれに準じる環境にあるもの以外の公共の場所（これらを管理する権限を有する者が喫煙をすることができる場所として指定した場所を除く。）において，たばこを吸うこと又は火の付いたたばこを所持することをいいます。ただし，大型自動二輪車及び普通自動二輪車以外の自動車の車内においてこれらの行為を行うことを除きます。以下同じ。）による身体及び財産への被害の防止並びに健康への影響の抑制を図り，もって市民及び観光旅行者その他の滞在者（以下「市民等」といいます。）の安心かつ安全で健康な生活の確保に寄与するため，路上喫煙等の禁止等に関し必要な事項を定めることとしました。

主な内容は，次のとおりです。

1 本市等の責務

本市の責務（第3条関係）

路上喫煙等の禁止等に関する施策を実施するとともに，路上喫煙等の禁止等に関する市民等及び事業者の意識の啓発に努めることを本市の責務とします。

市民等及び事業者の責務（第4条関係）

ア 路上喫煙等をしないよう努めることを市民等の責務とします。

イ 路上喫煙等の禁止等に関する本市の施策に協力することを市民等及び事業者の責務とします。

2 路上喫煙等の禁止に関する措置

路上喫煙等禁止区域の指定（第5条関係）

ア 市長は，3の審議会の意見を聴いて，市民等の身体及び財産への被害を防止し，並びに市民等の健康への影響を抑制するため特に路上喫煙等を禁止す

る必要があると認められる区域を路上喫煙等禁止区域として指定することができることとします。

イ 市長は、路上喫煙等禁止区域を指定したときは、これを告示するとともに、当該路上喫煙等禁止区域内の見やすい場所に、市長が定める標識の設置又は標示をしなければならないこととします。

路上喫煙等の禁止（第6条関係）

何人も、路上喫煙等禁止区域において路上喫煙等をしてはならないこととします。

3 審議会の設置（第7条から第9条まで関係）

路上喫煙等禁止区域の指定その他この条例の施行に関する重要事項について、市長の諮問に応じ、調査し、及び審議するとともに、当該事項について市長に対し、意見を述べるため、京都市路上喫煙等対策審議会を設置することとします。

4 罰則（第11条関係）

路上喫煙等禁止区域において路上喫煙等をした者に対し、2,000円以下の過料を科します。

この条例は、平成19年6月1日から施行することとしました。ただし、4に関する部分は、市規則で定める日から施行することとしました。